

＜外国語＞改善のポイント

(1) 現状の分析

- ・「知識・技能」において、5・6学年共に基本的な語彙や定型文の習得はできている。コミュニケーションも取れるが、アルファベットの小文字・大文字を正しく書くことや、文章を書くことに課題のある児童が多い。
- ・「思考・判断・表現」において、6学年ほどの領域・問題も目標値を上回っているが、対話を聞いて、目的や場面を推測することに課題がある。そのため、想定した場面での会話やコミュニケーションを円滑に進めることに課題がある。
- ・コミュニケーションを取ろうとする意欲や、聞き取ろうとする意欲に差が出てきているところが課題である。

(2) 課題

1	アルファベットを書くことに慣れていない。
2	場面に合わせて自分の考えや気持ちに合った表現をすることに課題がある。
3	相手意識を持って積極的にコミュニケーションをとろうとする意欲に差がある。

(3) 授業に取り入れたい改善策

1	授業の中で、アルファベットや簡単な英単語を書く練習の時間を設ける。
2	場面に合ったコミュニケーションをとるために、どのような語彙が使えるか出し合ったり、リアクションに使うジェスチャーや語彙の手本を示したりしながら、活動を行う。
3	外国語への抵抗感を減らすため、チャンツやアクティビティなどの活動を工夫したり、ALTと連携して、事前の発表練習を行ったりしながら、活動しやすい環境を作る。

R	5	観 点		
学 年		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5	現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語句や基本的な表現の意味の理解はできているが、学んだことを使ったやり取りには個人差がある。 ・アルファベットを読むことはできるが、書くことに慣れていない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことはできるようになってきているが、自分の考えや気持ちに合った表現をすることには課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだ語句や表現方法を使おうと努力する姿は見られるが、相手とやり取りする中で、相手意識をもって活動していくことには課題がある。
	改 善 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と児童、児童同士で、学んだことを使う場面を多く設け、定着を図る。 ・学んだ定型や言葉を書く活動を通して、書くことに慣れていけるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な表現にかかわる、児童にとって身近な語句を紹介する。 ・ペアやグループ学習の前に、目的や状況を確認し、教師や児童による手本を示して、自信をもって表現活動をできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・やり取りをするときに、目線を意識して伝えたり、うなずきながら聞いたりするよう声を掛け、相手意識をもって交流できるようにする。
6	現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・学習効果測定の結果はどの領域・問題も目標値を上回っている。 ・アルファベットの小文字や大文字について、正しく書くことに課題がある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習効果測定の結果はどの領域・問題も目標値を上回っている。 ・対話を聞き、目的や場面、状況を推測することに課題がある児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習効果測定の結果は目標値を上回っている。 ・英語を聞き取ろう、話そうとする意欲に、個人差が大きい。
	改 善 の ポ イ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で、アルファベットや簡単な英単語を書く練習の時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・想定した場面で使うフレーズについて、意味を理解しながら練習し、コミュニケーションゲームやスピーチで定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語への抵抗感を減らすため、チャンツやアクティビティなどの活動を工夫する。発表に対して自信がなかったり、後ろ向きな児童に対しては事前に発表の練習を行う。